

第71回さっぽろ雪まつり 開催結果（大通会場・つどーむ会場）について

1 会期

大通会場 : 令和2年2月4日（火）～11日（火・祝） 【8日間】
つどーむ会場 : 令和2年1月31日（金）～2月11日（火・祝） 【12日間】

2 観客数

2,021,000人（前回は約73.8%）

	第71回	前回比	第44回(1993年)以降順位※	第70回	第69回
大通会場	1,575,000人	81.4%	25位	1,934,000人	1,874,000人
つどーむ会場	446,000人	55.5%	9位（全12回）	803,000人	669,000人
合計	2,021,000人	73.8%	24位	2,737,000人	2,543,000人

※第43回以前は中島公園等の第4会場分が含まれるため

参考：第70回開催日程 大通会場 : 平成31年2月4日（月）～11日（月・祝） 8日間
つどーむ会場 : 平成31年1月31日（木）～11日（月・祝） 12日間

3 雪輸送の結果

6,054台（5tトラック換算） ※前回（第70回）：5,834台

4 雪氷像数（大通会場、つどーむ会場、すすきの会場）

201基（大通会場：119基 つどーむ会場：22基 すすきの会場60基） ※前回（第70回）：194基

5 各会場の結果について

【全体】

- ・新型コロナウイルスに関連した肺炎の世界的な発生や、韓国からの国際線減便・運休により、前回は比べ中国・韓国からの団体観光客が減少したこと、更に地元の小学校・幼稚園等の団体来場の取りやめ等から、来場者数が減少した。
- ・5日（水）には大雪警報が発令され積雪40cm以上を記録するなど、来場者の出足に影響を及ぼした。
- ・著名YouTuberのHIKAKINが大通会場・つどーむ会場に訪れ雪まつりの動画を投稿したほか、来場者によりFacebookやInstagram、Twitter等SNSで雪まつりに関する投稿がなされたことなど、雪まつりの魅力がSNSを通じて広く拡散された。
- ・最高気温が氷点下の寒い日が続き、その影響で雪像は良好な状態で保たれ、会期を通じて精巧に造られた雪像の細部まで見ることができた。
- ・大通会場・つどーむ会場において新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防のため、多言語による咳エチケットのポスター掲示や、多言語での注意喚起アナウンス、臨時観光案内所や休憩所などへのアルコール消毒液の設置、また従事者のマスク着用などを実施した。その結果、会期中目立った混乱は見られなかった。

【大通会場】

- ・プロジェクションマッピングが過去最多の5会場（2、4、5、7、8丁目）で実施され、特に17時以降、昼間とは異なる雪像の魅力も多く来場者が楽しんだ。
- ・11丁目で開催された国際雪像コンクールではタイチームが精巧な雪像『Future in hand/地球の未来を私たちの手で守ろう』を制作し、3年連続10回目の優勝を飾った。準優勝はインドネシア、3位はフィンランドとなった。

【つどーむ会場】

- ・新型コロナウイルスへの懸念などから、ファミリー層、小学校・幼稚園等の団体の来場数が減少した。
- ・台湾、タイなどアジア圏からの外国人来場者が例年通りに多く見受けられたほか、今回はヨーロッパやオーストラリアからの直行便の就航もあり、欧米豪からの来場者も目立った。

【問い合わせ先】

2月11日（火・祝）23時まで : TEL272-2180（大通会場6丁目実行委員会運営本部）
2月12日（水）以降 : TEL281-6400（さっぽろ雪まつり実行委員会（札幌観光協会内））